

産業の活性化

成田空港に近い利点を活かした多くの観光客が訪れる栄町づくり

観光客の増加（地域経済の活性化）

目的

地域の特性を活かし、産業振興を行うことで、町の経済が活性化し、雇用の場が創出される。このことにより、町に住み続けながら働く環境を創出していく。

観光の現状

- 1. 町には体験博物館「千葉県立房総のむら」がある
- 2. 房総のむらやドラムの里で土産を買ったり、飲食する観光客が少ない
- 3. 成田空港を利用するトランジット客は年間70万人いるが、栄町を訪れる観光客が少ない
- 4. 和装コスプレを体験できる「コスプレの館」が平成30年5月にオープンした
- 5. 町内には貴重な文化遺産や豊かな自然などの観光資源が点在している

観光の課題

- 1. 成田空港や周辺ホテルから房総のむらへの交通手段が少ない事に加え、情報発信不足や外国人観光客等のニーズに対応する体験などのメニューが作れないため、訪れる観光客が伸びていない（外国人観光客も伸び悩んでいる）
- 2. 魅力のある土産が少なく、飲食する場所も少ないため、観光客が土産を買ったり飲食したりすることによる地域経済の活性化に繋がっていない。
- 3. 旅マエや旅ナカで見るとようなサイトへの掲載が不足しているため、栄町を訪れるトランジット旅客が少ない。
- 4. コスプレの館の開館後、利用者数は倍増したが、新たな仕掛けや団体客対応が不十分であるため、利用者の伸びが少なくなっている。
- 5. 点在している観光資源のPR不足や周遊するルート作りが少なく、その手段も無いことから、観光資源が活かされていない

観光基本計画の策定

企業版ふるさと納税制度の活用

④町を訪れる観光客を増加させ地域経済の活性化を図る栄町づくり

- 1. 情報発信力の強化を図る
- 2. 交通手段の確保

- 1-1.外国人向け旅行サイトへ掲載する
- 1-2. QRコードやWiFi等を活用した多言語での情報発信を行う
- 1-3. フォロワー数の多い著名人による SNS 活用イベントを開催する
- 1-4. 成田空港や周辺ホテル、イオンモールなどへ観光情報の発信を依頼する
- 1-5. AIやICTを活用した観光情報の提供を行う
- 2-1. 空港・ホテル・イオン等からの交通手段を増やす。

- ①房総のむらを訪れる外国人 H30：8,645人⇒R6：10,000人
- ②空港などからの新たな交通手段 R6：3手段

- 2. コスプレを活用して地域経済の活性化を図る

- 2-1. 忍者教室など外国人に人気の高い体験教室を開催する
- 2-2. 成田空港周辺市町や観光協会などと連携した事業を展開する
- 2-3. 外国人に人気の高いアニメ系のコスプレ衣装の購入と着やすいようにリペアする
- 2-4. 町外でのプロモーションに参加する
- 2-5. コスプレ大会や写真コンテストなどのイベントを開催する
- 2-6. バス広告や広域観光パンフレット等を活用してコスプレ事業をPRする
- 2-7. 外国人の購買意欲を高める土産を作る
- 2-8. コスプレを産業化する

- ①コスプレの館の収入 H30：4,272千円⇒R6：6,500千円
- ②コスプレ体験する外国人数 H30：695人⇒R6：1,500人

- 3. 相撲を活用して外国人を誘客する

- 3-1. 外国人にも人気の高い「相撲」体験ツアー事業（限定イベント）を開催する
 - ①力士ふれあい相撲体験ツアー
 - ②子供相撲大会ツアー
 - ③節分体験イベントツアー
- 3-2. 外国人にも人気の高い「相撲」体験事業（通年イベント）を開催する
- 3-3. 町内飲食店舗と連携して外国人を街中に呼び込む
 - ・相撲関連メニュー開発
 - ・メニューの多言語化など

- ①本事業における外国人客数 R6：1,050人
- ②外国人町内飲食店利用額 R6：5,250千円
- ③雇用の増加 R6：4人

- 4. 活かされていない観光資源を発掘して活用する

- 4-1. 観光マップ（町に点在する観光資源などを結ぶ周遊マップ）を活用して町の魅力をPRする
- 4-2. 多国語併記の観光案内板を整備する
- 4-3. 釣りやボートなど水辺の自然環境を活かした観光とレジャーによって誘客を図る
- 4-4. 文化財や祭り及びイベントなどを活用した誘客事業を展開する
- 4-5. レンタサイクルで観光資源を周遊する（成田市との連携）
- 4-6. 成田市等との広域連携によってPR効果を高める
 - ①房総のむらから坂田が池や下総松崎駅周辺の周遊マップを作成して魅力を発信する
 - ②成田市などと連携して海外等への情報発信を行う
 - ③空港や成田山の参道などでコスプレイベントを一緒に行う

- ①町内観光客数 H30：506千人⇒R6：600千人
- ②成田市等との新たな連携事業：2事業

- 5. 観光客を町中に誘導する

- 5-1. 安食駅の改修に併せて観光発信拠点を整備する
 - ①観光情報を提供できるようなスペースを確保する
 - ②ドラムの里と駅を結ぶレンタサイクルの拠点とする
- 5-2. イベント広場（大鷲神社下）を活用して観光客を誘導する
- 5-3. コスプレ体験などと町内の飲食や買い物を組み込んだセットツアーを企画する

- ①観光発信拠点整備年度：令和6年度

戦略での取り組み